

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会報 第34号 令和4年8月



切久保橋

6/11～7/10 北御牧庁舎市民交流サロンにて
田中良雄さん油絵作品展が開催されました



台風 19 号被害からの復旧・復興へ

台風 19 号で被災した布下橋・本下之城橋・切久保橋の
復旧工事が完了。新しい姿になりました。



本下之城橋



布下橋

北御牧の人の動き

総人口	4,543人 (-9人)	転入	5人	出生	3人
男	2,246人 (-5人)	転出	5人	死亡	9人
女	2,297人 (-4人)				

() 内は、5月末との対比 (令和4年6月末現在)

御牧の郷だより 33号で人口の動きの男女の増減の数字が間違っており
ました。お詫びして訂正いたします。男 (-4)、女 (-8) です。

サロンギャラリー ザ・匠の技

爪楊枝アートに魅せられて

御牧原南部区 増田司さん

サロンギャラリーで4月5月の二ヶ月間展示の、爪楊枝で作られているお城や神社等の作品が驚きをもって見られていました。

東京タワーから始まり、飛騨の合掌造、黒壁の松本城、安曇野にある穂高神社、白鷺城とも呼ばれる姫路城、金色に輝く金閣寺、緑の屋根に朱色の柱が映える宇佐神宮、難攻不落・どっしりとした石垣の上田城、十円硬貨でお馴染みの宇治の平等院が並びました。

その数全部で16点。爪楊枝が屋根のなだらかな曲線を生み出し、壁にはめりはりを効かせています。全体をながめても、どっしりとしたお城や神社・お寺の重みまで表現されています。

この爪楊枝アート 歴史建造物シリーズの作者は、御牧原南部区にお住まいの増田司さん。20年ほど前に当地に移住されました。県道沿いの手造りの水車が回るお宅として知られています。

「初めは絵や彫刻を楽しんでいたのですが、外国では教会などを作る爪楊枝アートがあることを知りました。『あっこれは』と思い、やってみたらこれは良かった、それから十何年続いています。ネットで島根県のある会社の会長が爪楊枝アートを作っているのを知り、すぐに連絡をして資料を送ってもらいました。早速に五重塔を作り、会長氏に写を送ったら『私は何年もやっているのに、増田さんは一ヶ



月でこんなに作ってしまうとはすごい、もう私にはできないよ』とまで言われてしまいました」と語ります。

金閣寺を作った時、初めは爪楊枝だけでしたが、金色の紙を貼って仕上げました。お城の石垣は最初は薄い鉄平石を使ってみたのですが重すぎ、そこで紙粘土で形を整え絵の具と色鉛筆で重みを出しましたと制作のポイントを。

使っている爪楊枝は二千本ほど。「毎朝の日課のように工作室で細かいことを平気でやっています」（奥様の栄子さん談）。仕上げる時間はそれほど長くはないとか。

「全部爪楊枝で出来ていてすごい、手が込んでいて素晴らしい、丁寧に作られていて感動」との感想が寄せられていました。展示作品は全て希望者に譲ることにし、申し込みが多く寄せられ、引きとられてゆきました。

「おっ、これいいな」と思った建物は、これからも作り続けてゆくそうです。



東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 \ 利用と観覧がしやすくなりました /



八重原・芸術むら公園のシンボリックな梅野記念絵画館（東御市総合交流促進施設）は、昨年令和3年12月の定例議会にて条例の一部改正が採決され、いっそう利用と観覧がしやすくなりました。

北御牧村時代に景勝の地明神池のほとりに建てられ、芸術文化の発信を続けている絵画館。この中の「ふれあい館」は地元の皆さんによる講演会や展示の場として設けられていました。

今回の条例改正により「ふれあい館」「ホール」が有料にて広く一般に開放され、常設展の観覧料も300円とさらに入館しやすくなりました。

大竹永明館長は北御牧中学校の一年生を対象に訪問対話鑑賞を続けています。「初代館長の梅野隆が集めた、無名だったが素晴らしい作品を展示しています。その中から、ご自分が気に入り好きになった作品を見つけて下さい」と話されました。

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

開館時間 午前9時30分から午後5時まで

休館日 月曜日

月曜日が祝祭日の場合は、翌火曜日が休館になります。



あなたも卓球で、リフレッシュしてみませんか

北御牧卓球クラブのご紹介



北御牧卓球クラブは、ふれあい体育館（北御牧中学校隣）で、毎週金曜日、午後7時45分から9時45分まで卓球の練習をしています。会員は40代から80代まで、今年は男性12人女性4人の合計16人。

同時にスポーツ協会の北御牧卓球教室も開催しており、その教室生（小学3年生から60代の15人・教室期間4月から11月で年間25回）の指導もしています。

それぞれの体力に見合った練習、無理のない運動量で、楽しんで活動しています。

興味のある方は、運動靴・ラケット（ある方）持参で練習日にのぞきに来てみてくださいね。（ほとんど毎週行っていますが、ふれあい体育館 67-3630 に電話して確認してからお出かけください。）

お問い合わせ・申し込み 東御市スポーツ協会（62-2200）

北御牧のオオルリシジミを守る会 活動の紹介



北御牧小学校理科クラブは、全国でただ一つオオルリシジミを育てる理科クラブです。5月中旬、蝶の産卵・幼虫・サナギという、オオルリシジミを育成を体験し学んでいます。理科担当の先生の努力で十年近くの歴史があります。毎年、三年生以上児童を募集し、本年は20名が参加しました。蝶が最も活動する午前8時頃理科室に集合し、蝶が吸うための花やみつを変えたり、幼虫の食草になるクララの花やつぼみを採集して与えます。

幼虫期間はおよそ一ヶ月。薄い茶色に変色するとサナギに変わる合図です。その後濃い茶色のサナギとなります。本年は57匹のサナギが誕生し、来年五月までの長い眠りにつきました。本年の育成活動は終了しましたが、食草クララの育成保護は、秋まで続きます。

北御牧のオオルリシジミを守る会、御牧原や八重原台地のクララを保護する皆さんの支えで、クラブ活動が行われています。オオルリシジミは小さな蝶ですが、保護活動は地域の自然環境を守ることもつながっています。

北御牧のオオルリシジミを守る会 渡辺正喜

北御牧に帰ってきました 小さなお花屋さんがオープン



hanaya sunny 東御市八重原2226
営業時間 > 12:00~18:00 定休日 > 日曜・月曜
TEL > 0268-75-8353

浅間山が一望できる八重原の地に、なおさんりえさんご夫婦が営む、小さなお花屋さん「hanaya sunny」がオープンしました。主に生花・ドライフラワーを取り扱っており、ナチュラル・アンティークな花、また流通の少ない珍しい花などを仕入れ、店内には様々なお花がおしゃれにディスプレイされていました。

なおさんはお花の国家資格1級を取得しており、コンテスト金賞など受賞歴多数の技術者です。また、りえさんも

コンテスト入賞歴があり、「表面的なビジュアルだけでなく、お花を扱う確かな技術や知識を持って、皆さんに喜んでいただける商品を提供しています。」と話して下さいました。奥様のりえさんは北御牧の出身。以前から、「お店を出すなら街中ではなく、静かな場所で」との思いがあり、景色、空気感に魅了された北御牧の地に出店。敷地内には自宅があり、年少の息子さん、ワンちゃんや猫ちゃんたちと賑やかな毎日を過ごしています。

今後は広い敷地に花や樹木を植え、木陰や休める空間を作る予定。花を買うだけでなく、風景や空気に癒され、誰もが穏やかになれる場所を目指しているそうです。「おしゃれ



で特別感のあるお花屋さん」という立ち位置だけでなく、誰でも気軽に入れて、くつろげる空間。ご夫婦の思いが融合し、お花屋さんを核とした地域に溶け込む場所が出来上がっていく過程を、今後も見守りながら応援して行きたいと思います。

御牧ふれあいの郷づくり協議会では、北御牧地域の区やNPO団体等がこの地域で行う地域づくり活動の経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。

区分	対象経費	補助額	補助回数
事業補助	団体が自ら考え行動を起こす公共的な事業で、独創性、実現性、自立性のある事業の実施に要する経費	5万円以内	同一事業は2回まで
団体補助	団体の通常活動に必要な経費（消耗品、講師謝金、印刷製本費等で、事務所維持、飲食代、構成員の件費を除く）		1回
	設立後2年以内	設立後2年超	

*補助を希望する場合は事前に申請してください。他の補助金を受けている場合は対象とならない場合があります。
*詳しいことは御牧ふれあいの郷づくり協議会 事務局 Tel.67-1010へお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座 開催のご案内

家族、知り合い、自分自身が認知症になっても決してマイナスに考えず、誰もがいつまでも生き生きと安心して暮らし続けられる地域であるために。

認知症になっても自分の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らしを続けることができる・・・そんな北御牧でありたいと願って、講座の開催を企画しました。



目的 ▶ 誰にとっても身近な認知症について正しい知識を持ち、目配り、気配り、心配りができる人を育成する。

対象 ▶ 北御牧在住・在勤の方なら誰でも（定員20名先着順）

日時 ▶ 10月1日(土) 9:30～11:30
(以後も偶数月の第1土曜日午前に開催予定)

場所 ▶ 北御牧公民館 2F 講堂

内容 ▶ 認知症に関する講義と、認知症当事者や支援者の体験談を聞く。

申込 ▶ 御牧ふれあいの郷づくり協議会事務局 (67-1010) に事前予約。参加無料。

御牧ふれあいの郷づくり協議会
生活環境部会長 岡田 真平

協議会からのお知らせ

- 8月12日……親子ふれあい青空朝市
- 8月14日……みまきドカンコ
花火大会のみ実施します。観覧席は設けませんので、最寄りの場所で観覧してください。
- 9月19日……敬老会は実施しません。
飲食を伴いますし参加者も毎年減少しています。
今後のあり方は考えていかなければならない時期にきています。
- 10月8～9日…火のアートフェスティバル開催予定
- 10月8日～11月6日の土日祝日
………天空の芸術祭 開催予定
- 11月26日…… 駅伝大会 開催予定

編集後記

何時ものことながら草刈作業が忙しい時期ですね。そう最近、家の周辺ではセリ科のオヤブジラミをよく見かける様になりまして、花は小ぶりで可愛らしいのですが、実は米粒よりやや大きくトゲトゲがあり衣服に付着したものなら実を取るのひと苦勞！俗に「ひつつき虫」とも言われるそうですが、種子を大胆にも人間や動物などに付着させ遠くまで運んでもらおうするオヤブジラミの密かな思い？に何故か感銘を受けるこの頃でした。